



主屋の廊下。昔の風合いをそのままに修復しました



如斯亭庭園

10月21日(土)正午公開!

国指定名勝 旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園

四季の趣 時を越え

おもむき

旧秋田藩主佐竹氏別邸(如斯亭)庭園は、江戸時代の元禄年間(1688-1704)に3代藩主・佐竹義処から近臣の大嶋小助に土地が与えられ、そこに別荘を建てたのが起源とされています。その後、名君として知られた9代藩主・義和によって庭園が整備され、「如斯亭」と名づけられました。

「如斯亭」は、中国の孔子の論語の一節「逝者如斯夫、不舍昼夜」(逝く者は斯くの如きか、昼夜をおかずに)から取られたもので、その意味は「水流の間断なき流れを嘆賞しつつ、人間の道も学問もまたかくあるべき」と解されます。その名のお

開園時間	4月11日午前9時～午後4時30分 12月3日午前9時30分～午後4時
休園日	12月29日～1月3日
入園料	一般200円、団体(20人以上)160円、 高校生以下無料、年間入園料500円
問	如斯亭庭園 ☎(834)6300 (20日(金)までは文化振興課へ。 ☎(888)5607)



り水の流れが美しい庭園の趣は、「東北では無二の名園」とも評され、藩主の御休所にとどまらず、詩文や書画などに親しむ多くの文人墨客の交友の場としても活用されました。時を経て、平成19年に国指定名勝となり、平成26年には遺構や史料を基に庭園の復元や主屋の解体修理などの整備工事に着手。そしてこのたび、往事の姿に蘇えり、新たな名所として開園することとなりました。

四季折々、さまざまに表情を変える庭園の眺めは格別です。そして、風の音、水の流れ、虫の声……。ゆったりと時が過ぎる癒やしの空間へ、ぜひお越しください。

個人向け施設見学会

実施日▶11月9日(木)・16日(木)

郷土の文化遺産を知る
「如斯亭庭園・旧黒澤家住宅」

まもなく公開される「如斯亭庭園」と、一つ森公園内にある国指定重要文化財「旧黒澤家住宅」をご案内します。当日午前9時にアルヴェ1階インフォメーションセンター前に集合し、バスで移動・見学、正午に秋田駅西口で解散します。

観覧料は如斯亭が200円、旧黒澤家住宅が100円。定員各日20人。同伴できるお子さんは小学生以上です。広報広聴課 ☎(888)5471

【申し込み】

往復はがき、FAX、Eメールのいずれか(一通2人まで)で、見学会参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号・FAX番号、今年度の施設見学会の参加回数を、10月20日(金)必着(まで)にお知らせください。

〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(888)5472
Eメール skengaku@city.akita.akita.jp

*電話では受け付けません。FAX、Eメールの場合、いただいた番号・アドレスに決定通知を返信します。

*定員を超えた場合は、今年度初参加の順を優先したうえで抽選します。

《秋田のリアル》から 未来を考える対話

秋田市では、「ありのままの秋田」を見つめ直し、芸術・文化のみならず、食や市場、経済など生活に根差したアート役割を考え、未来の地域社会に向けた新たな価値を創造するネットワークをつくりだす取り組みを進めています。

今年度は、現在の秋田に生まれつつある、さまざまな文化的潮流の担い手をゲストに迎え、これからの地域における社会や経済のあり方、芸術やデザインが果たすべき役割などについて対話し、それぞれの分野に蓄積された知識やノウハウを交換・共有する「創造の場（集合知の拠点）」づくりを考えます。

*昨年度開催した、(仮称)あきた芸術祭のあり方を考える「あきた豊醸化計画」をさらに深めるものです。

シリーズで開催！「夜楽」

司会：石倉敏明(人類学者)



■第1回 「もう一つの場所」をつくる

日時▶10月18日(水)午後6時30分～8時30分
 ゲスト▶田村 一(陶芸家)、高橋 希(写真家/オゾフェス主宰)、佐藤祐輔(新政酒造社長)、服部浩之(インディペンデント・キュレーター)

■第2回 「食と自然」をつなぐ

日時▶12月6日(水)午後6時30分～8時30分
 ゲスト▶藤本智士(編集者)、菊地晃生(ファームガーデンたそがれ園主)、高橋 基(宍たかえん代表取締役)

■第3回 「土地の記憶」を継承する

日時▶1月31日(水)午後6時30分～8時30分
 ゲスト▶岸本誠司(民俗学研究者)、天野莊平(男鹿市菅江真澄研究会会長)、小松和彦(小松クラフトスペース代表)
 (以上敬称略)

会場▶ぎわい交流館／参加無料／先着各50人

申し込み

10月10日(火)から各開催日の前々日までに、電話(平日午前9時～午後5時)かEメールで、氏名・電話番号をお知らせください。なお、未就学児を対象に託児サービス(定員5人)を行います。ご希望のかたは、開催日の8日前までにお申し込みください。企画調整課☎(888)5462
 Eメール ro-plmn@city.akita.akita.jp

予告!

シンポジウム「(仮)秋田から考える《辺縁と創造のネットワーク》」は、11月23日(木)開催！詳細は、次回広報あきた10月20日号でお知らせします。



敷地南側から主屋をのぞむ



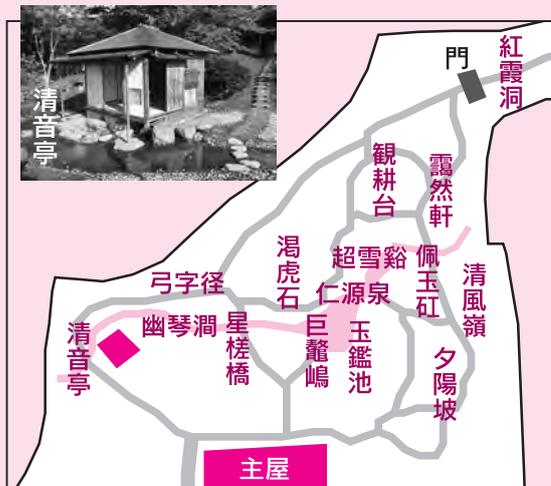
巨龍嶋



靄然軒

義和が庭園を整備した際に、風情ある景観を楽しむために儒者・那珂通博に命じて「園内十五景」を選定させました。今回の修復工事では、これらも整備し、園内を散策しながら堪能することができます。

風流かな「園内十五景」



園内十五景の位置

- ① 紅霞洞 東門から入る庭の入口部分
- ② 靄然軒 東にある四重の塔が立つ高所
- ③ 夕陽坡 東側を南北に走る園路
- ④ 観耕台 滝の後ろにある高所
- ⑤ 佩玉砭 観耕台下の石橋付近
- ⑥ 清風嶺 東側にある嶺
- ⑦ 超雪谿 池に流れ込む瀧
- ⑧ 仁源泉 超雪谿から流れ落ちた瀧壺
- ⑨ 玉鑑池 仁源泉から流れ込む池
- ⑩ 巨龍嶋 玉鑑池の中の大石
- ⑪ 湯虎石 池際に横たわる石
- ⑫ 星槎橋 2本の筋違い橋
- ⑬ 幽琴澗 星槎橋からの水の流れ
- ⑭ 弓字径 清音亭に向かう小径
- ⑮ 清音亭 茶室風の建物

*文献などから推定されるおおよその場所を示しています。